

令和5年度市民提案型事業補助金 活動内容紹介（HP 公開用）

団 体 名	ヒトハナ
事 業 名	DV 環境にある女性の気力体力回復サポート事業
実 施 場 所 ※右記の該当に☑ を入れてください	☒ 市民センター ☐ ルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホール ☐ 集会所 ☐ 公園（ 公園） ☐ その他施設（ ） ☐ その他※会場を使用した活動ではない等
実 施 期 間	【準備期間】 令和5年6月～令和6年3月 【実 施 日】 令和5年10月～令和6年3月
事業の目的	いわゆるカサンドラ症候群と呼ばれる状態にあり心身に不調をきたした女性への気力体力回復支援は、当団体が始めるまでどこにもありませんでした。彼女らがご自身の人生をご自身で検討・選択するための気力体力回復を「身体と向き合う」という方法によりサポートします。発達障害者を愛した女性を健康に社会復帰させることで、発達障害者への寛容性の高い社会を作ります。また、母親の疲弊を軽減することで、子供が母親から十分な愛情を受け取れる環境をつくります。
事業実施 の 内 容 (活動実績)	令和5年10月4日芦屋市民センターに岩下徹氏を講師として迎え、ダンスセラピーの試みを行いました。以降、1ヵ月に一度フォローアップの会を開催し、身体のメンテナンスを通して、ご自身の変化に気づく時間を持ちました。自分の過去や置かれてきた状況を肯定的にとらえられるようになってきた等の変化を感じた参加者もいらっしゃいました。メールによる情報提供なども行いました。
・ 応募して 良かった点 ・ 事業実施に当たり 工夫した点 反省点など	当事業は社会的信頼が重要です。当団体はスタートアップのため、対象者から信頼され参加していただくことに難しさがあります。今回の補助金は当団体にとって初の補助金で、このバックアップが信頼につながり、対象者にリーチすることができましたし、その後の他自治体様等との交渉も大幅にしやすくなりました。どうもありがとうございました。
活動時の写真 (4枚以内) ※()内に写真の 説明を記入してく ださい	※参加者のプライバシーを守るために、写真は非公開とします。 写真はありませんが、会の開始時と終わりを比べると、皆さんの表情はずっと柔らかくなります。本当は、お見せしたいぐらいです。今回参加されなかった方でも、「なんだか配偶者との関係に困っている」という方、ご連絡お待ちしています。該当する・しないはお気になさらず、まずご連絡くださいませ。 info@happycrazy.org